

2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社TWOSTONE&Sons 上場取引所 東
 コード番号 7352 URL <https://twostone-s.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 河端 保志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 加藤 真 (TEL) 03(6416)0057
 四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績(2023年9月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	3,219	43.6	59	20.5	59	23.5	28	△2.9
2023年8月期第1四半期	2,241	61.2	49	140.0	48	143.1	29	324.3

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 28百万円(△2.9%) 2023年8月期第1四半期 29百万円(324.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	1.35	1.21
2023年8月期第1四半期	1.39	1.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	4,227	903	21.2
2023年8月期	4,086	897	21.8

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 897百万円 2023年8月期 892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,225	31.5	449	40.7	439	43.6	240	41.6	11.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年8月期1Q	20,986,080株	2023年8月期	20,986,080株
2024年8月期1Q	278株	2023年8月期	278株
2024年8月期1Q	20,985,802株	2023年8月期1Q	20,958,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2024年1月12日（金）にライブ配信による決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、開催後当社ウェブサイト（<https://twostone-s.com/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの収束に伴い人々の移動が増加し、徐々に回復の兆しを見せていますが、緊迫する社会情勢や世界的な金融引き締めを背景とした物価高騰などにより、依然として経済の見通しは不透明な状況にあります。一方、ウィズコロナの新しいフェーズに移行する中で、各産業におけるITの活用やデジタル変革が進行しております。その動きを受け、IT専門家や一般のITスキルの向上の要求は増加の一途を辿っています。

このような経済状況のもと、国内の人材市場については緩やかな回復傾向が続いており、厚生労働省調査による2023年11月の有効求人倍率は1.28倍となりました。

当社の事業領域と関連の高いIT市場におきましては、デジタルトランスフォーメーションへの投資案件も増加基調は続いており、ITエンジニアに対する企業の採用意欲は依然として高い水準になることから、デジタルシフトを進める企業にITエンジニアを提供する当社の役割は、より重要なものになると認識しております。

このような事業環境下におきまして、当社は昨年に引き続き企業のデジタル化を推進すべく、企業に対しITエンジニアリソースの提供を行うとともに、ITエンジニアの独立支援を行うMidworks事業を中心としたエンジニアプラットフォームサービスの拡大に注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,219,468千円（前年同期比43.6%増）、営業利益59,309千円（前年同期比20.5%増）、経常利益59,873千円（前年同期比23.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28,310千円（前年同期比2.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,227,627千円となり、前連結会計年度末に比べ141,538千円増加いたしました。これは主に、売掛金が103,100千円増加し、のれんが28,474千円減少したことによるものであります。

負債は、3,324,305千円となり、前連結会計年度末に比べ135,291千円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことに伴い、85,541千円、買掛金が87,182千円、1年内返済予定の長期借入金が増加した54,174千円、短期借入金が増加した100,000千円減少したことによるものであります。

純資産は、903,321千円となり、前連結会計年度末に比べ6,246千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加した5,433千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月13日付けの「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,289,670	1,301,531
売掛金	1,464,945	1,568,045
仕掛品	17,715	43,697
その他	72,395	101,226
貸倒引当金	△3,622	△1,155
流動資産合計	2,841,105	3,013,345
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	33,508	29,534
その他（純額）	11,755	12,003
有形固定資産合計	45,263	41,537
無形固定資産		
のれん	890,771	862,297
その他	126,887	121,814
無形固定資産合計	1,017,658	984,111
投資その他の資産		
投資有価証券	41,418	41,449
敷金及び保証金	117,935	121,623
繰延税金資産	22,208	24,767
その他	12,362	12,362
貸倒引当金	△11,863	△11,571
投資その他の資産合計	182,060	188,631
固定資産合計	1,244,983	1,214,281
資産合計	4,086,088	4,227,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	711,839	799,022
短期借入金	200,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	397,478	451,652
未払金	368,693	396,820
未払法人税等	43,967	33,219
賞与引当金	35,043	43,882
その他	197,278	175,445
流動負債合計	1,954,299	2,000,042
固定負債		
長期借入金	1,214,976	1,300,517
その他	19,738	23,746
固定負債合計	1,234,714	1,324,263
負債合計	3,189,014	3,324,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,886	144,886
資本剰余金	144,786	144,786
利益剰余金	602,732	608,165
自己株式	△189	△189
株主資本合計	892,216	897,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	51
その他の包括利益累計額合計	-	51
新株予約権	4,857	5,619
純資産合計	897,074	903,321
負債純資産合計	4,086,088	4,227,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	2,241,555	3,219,468
売上原価	1,645,833	2,333,412
売上総利益	595,721	886,056
販売費及び一般管理費	546,496	826,746
営業利益	49,225	59,309
営業外収益		
助成金収入	-	1,710
受取手数料	701	1,037
その他	254	1,187
営業外収益合計	955	3,935
営業外費用		
支払利息	945	3,134
株式交付費償却	633	-
その他	129	236
営業外費用合計	1,707	3,370
経常利益	48,473	59,873
税金等調整前四半期純利益	48,473	59,873
法人税、住民税及び事業税	12,802	32,008
法人税等調整額	6,519	△445
法人税等合計	19,322	31,563
四半期純利益	29,150	28,310
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,150	28,310

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	29,150	28,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	51
四半期包括利益	29,150	28,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,150	28,362
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	エンジニア プラットフォーム サービス	マーケティング プラットフォーム サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,057,042	183,603	2,240,645	909	2,241,555
外部顧客への売上高	2,057,042	183,603	2,240,645	909	2,241,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,057,042	183,603	2,240,645	909	2,241,555
セグメント利益又は損失 (△)	203,442	30,914	234,356	△1,203	233,153

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資用不動産販売事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	234,356
「その他」の区分の損失(△)	△1,203
調整額	△1
全社費用(注)	△183,926
四半期連結損益計算書の営業利益	49,225

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「エンジニアプラットフォームサービス」セグメントにおいて、株式会社DePropの全株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連結累計期間においてのれんが29,491千円増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	エンジニア プラットフォーム サービス	マーケティング プラットフォーム サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,013,492	140,076	3,153,568	65,900	3,219,468
外部顧客への売上高	3,013,492	140,076	3,153,568	65,900	3,219,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,013,492	140,076	3,153,568	65,900	3,219,468
セグメント利益	226,803	11,261	238,065	27,036	265,102

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、M&Aアドバイザー事業であります。

2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	238,065
「その他」の区分の利益	27,036
全社費用(注)	△205,792
四半期連結損益計算書の営業利益	59,309

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

I. 株式会社MapleSystemsの株式取得について

当社は、2024年1月12日開催の取締役会において、エンジニアマッチングサービスを手掛ける株式会社MapleSystems(以下MapleSystems)の全株式を取得して子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。

1. 株式取得の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業内容

被取得企業の名称 株式会社MapleSystems

事業内容 エンジニアマッチングサービス

(2) 株式取得の理由

当社は「BREAK THE RULES」を経営ビジョンに掲げ、「テクノロジー×HR (Human Resources)」をテーマに、ITエンジニアに特化した事業を行っております。当社の事業は、ITエンジニアにはキャリア開発の機会と安心して就業できる機会を提供し、そのITエンジニアのリソースを、従来の雇用形態に捉われない様々な形でITサービスの開発力不足に悩む企業に提供することで、国内におけるITエンジニアの人材不足を解決す

るソリューションを提供しております。

当社の中核事業の一つであるフリーランスエンジニアと企業のマッチングサービスである「Midworks」は、ITエンジニア人材ニーズの増加を背景に毎期増収を実現しておりましたが、そのような中、ITエンジニア人材ニーズの多様化、及び求められる業務の高度化に際し、多様なITエンジニア人材の確保、及び高度な業務に対応することのできるITエンジニアチーム組成体制の構築が必要であると認識しておりました。

MapleSystemsは、ITエンジニアを企業とマッチングするMidworksと同様のビジネスを営んでおり、案件管理・顧客獲得等の面で独自のノウハウを有しております。今回のM&Aにより、MapleSystemsと当社は双方の顧客基盤・双方のITエンジニアデータベースを掛け合わせることでクロスセルの実現を見込んでおり、両社ともにさらなる成長ができると考えております。特に若手・WEB系のエンジニア人材業界におけるシェア拡大、プレゼンス向上ができるものと見込んでおります。

また、MapleSystemsにおいて「Midworks」を中心とした、当社の現有ノウハウ、リソースを投入することでの営業力や人材採用力の強化、顧客間口拡大等のシナジー実現を想定しており、従来の取引企業との関係の維持、既存事業の継続的・安定的運営を行いながら、当社グループとの親和性を考慮したアップサイドの創出にも取り組み、さらなる事業成長を目指してまいります。

(3) 取得した議決権比率

100%

2. 取得の対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	350,002千円
-------	----	-----------

3. 主要な株式取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 2,000千円（概算額）

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点で算定中でありませぬ。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点で算定中でありませぬ。

3. その他

該当事項はありません。